



■ND C 9 0 9 昭和43年 5 0 2 P 2 2・5 cm 小学館版

—— 少年少女世界の名作文学／第41巻／南欧編2 ——

■昭和43年7月20日発行

■少年少女世界の名作文学／第41巻／南欧編2

■チョンドリーノ／デカメロン／ベッケル短編／銀の島

■定価／四八〇円

■編者／◎名作選定委員会

■発行者／相賀徹夫

■発行所／株式会社小学館 東京都千代田区神田一ツ橋二ノ一

■郵便番号一〇一

■電話東京(263)二二一一

■振替／東京二〇〇番

■印刷・製本／大日本印刷株式会社

■本文用紙／本州製紙株式会社

■表紙クロス／東洋クロス株式会社

執筆者紹介

岩崎純孝／明治34年、静岡県

に生まれる。日本児童文学者

協会、翻訳家協会会員。主な

訳書に、クオレ、ビノッキオ、

チョンドリーノ

上崎美恵子／昭和3年、福島

県に生まれる。日本児童文芸

家協会会員。主な著書に、小

さな神さま、世界英雄物語

横本ナナ子／大正11年、岡山

県に生まれる。日本児童文芸

家協会理事。主な著書に、は

ねがはえた三りんしゃ

造本にはじゅうぶん注意しておりますが、万一落丁・乱丁
などの不良品がありましたら、おとりかえいたします。

Printed in Japan

少年
少女 世界の名作文学—41

南 欧 編—2

チョンドリーノ・デカメロン

バンバ原作

ボッカッチョ原作

ベッケル短編・銀の島

ファンチュリ原作

岩崎純孝編



小学館

はじめに……………

岩崎純孝

この巻「南欧編2」には、イタリアのボツカッチオ、バンバ、ファンチュリ、スペインのベツケルの作品が収められております。

地理的に、スペインは、南欧州ではありませんが、民族の上でも、言語の上でも、ラテン系（ローマ民族系）に属しますし、人間的に見ても、情熱的な点や、音楽や、美術を愛好する点でもよく似ていますので、「南欧」ということが当てはまります。

作品が書かれた時代を見ますと、ボツカッチオの『デカメロン』は一三〇〇年代、バンバの『チョンドリーノ』は一八〇〇年の末、ファンチュリの『銀の島』は一九〇〇年代の初め、ベツケルの『短編』は一八〇〇年代の中頃で、時代的には飛び飛びですが、「南欧性」をよくあらわしている点では、共通点があります。

元来、おとなの読み物である『デカメロン』がここに収められているのは、すこし奇異に思ふかたがあるかもしれませんが、これが、世界の短編小説の始まりですし、そのユーモアや風刺は、イタリア、スペインの文学の特徴ですじ、『ピノッキオ』や『チョンドリーノ』のような児童文学にもあらわれていますから、収載の意味もあるわけです。

『チョンドリーノ』は、『ピノッキオ』に次ぐおもしろい童話、『銀の島』は、冒険小説、『ベツケル短編』は、芸術的なかおりたかい、民話ふうの小説であります。



チヨンドリーノ

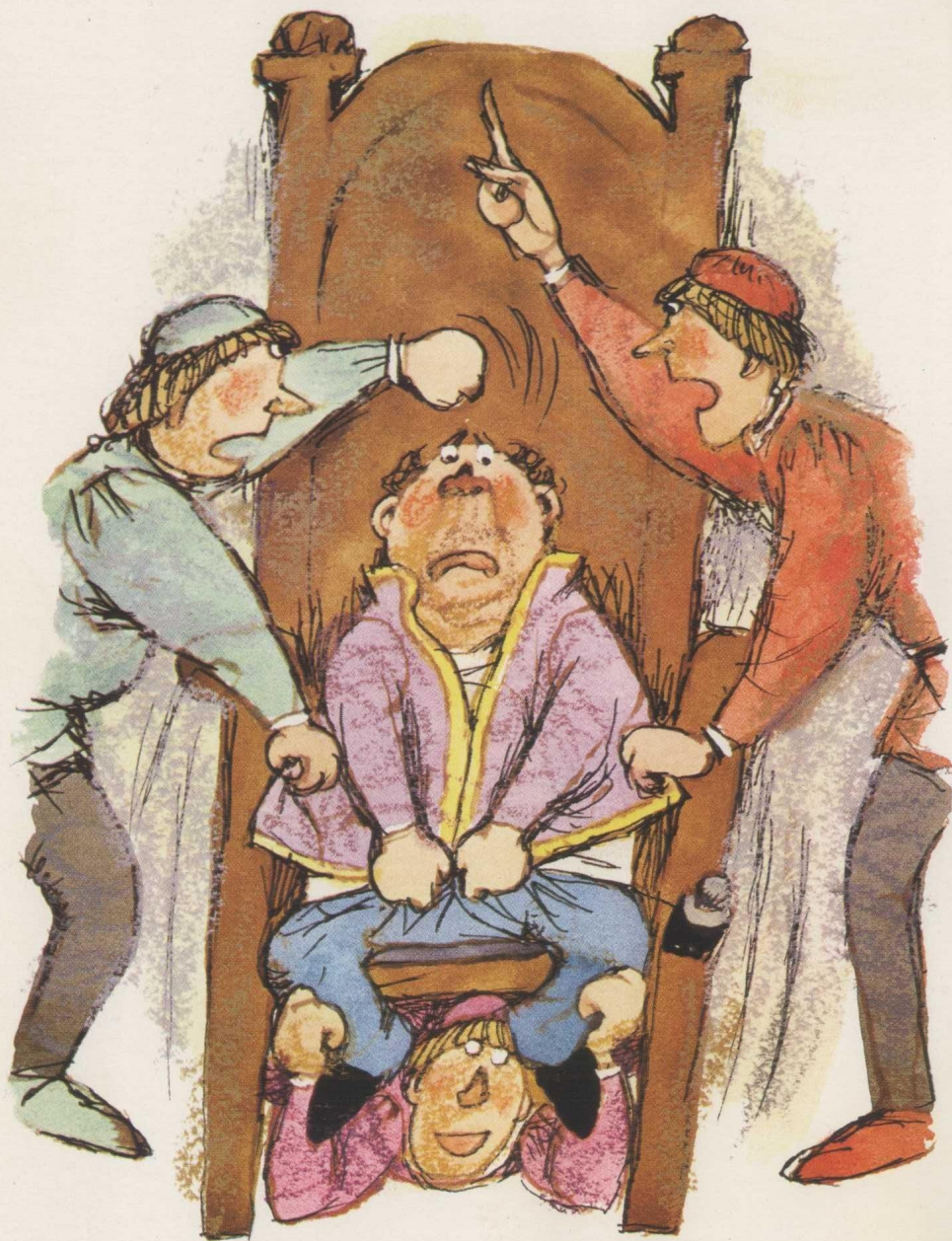
「おまえたち、そんなにありになりたいのか？」いやいやながら勉強していた三人は、ふしぎな老人に声をかけられました。驚いてふりむくと老人はなにやらつぶやきました。すると、三人のからだはみるみるうちに小さくなっていきました。

27ページをごらんください



ぎん の しま

やみ^よをひきさくように^{はうせい}砲声^{ひび}が響きわたった。なにごとだろ
う？ パオロはいそいで^{はうだい}砲台^{たい}にかけのぼった。遠く^{とほ}夜^よの海^{うみ}を
^{かいぞくせん}海賊船^{はし}が走り去^きっていく。白く^{しろ}あわだつ^{こうせき}航跡^{せき}をのこし……。



デカメロン

かじやの裁判官

「裁判官、聞いてください。」「いいえ、この男が……。」「フィレンツェの三人のいたずら者は、よってたかって、裁判官をひっぱります。思わず立ちあがると、裁判官のズボンは……。」

283ページをごらんください



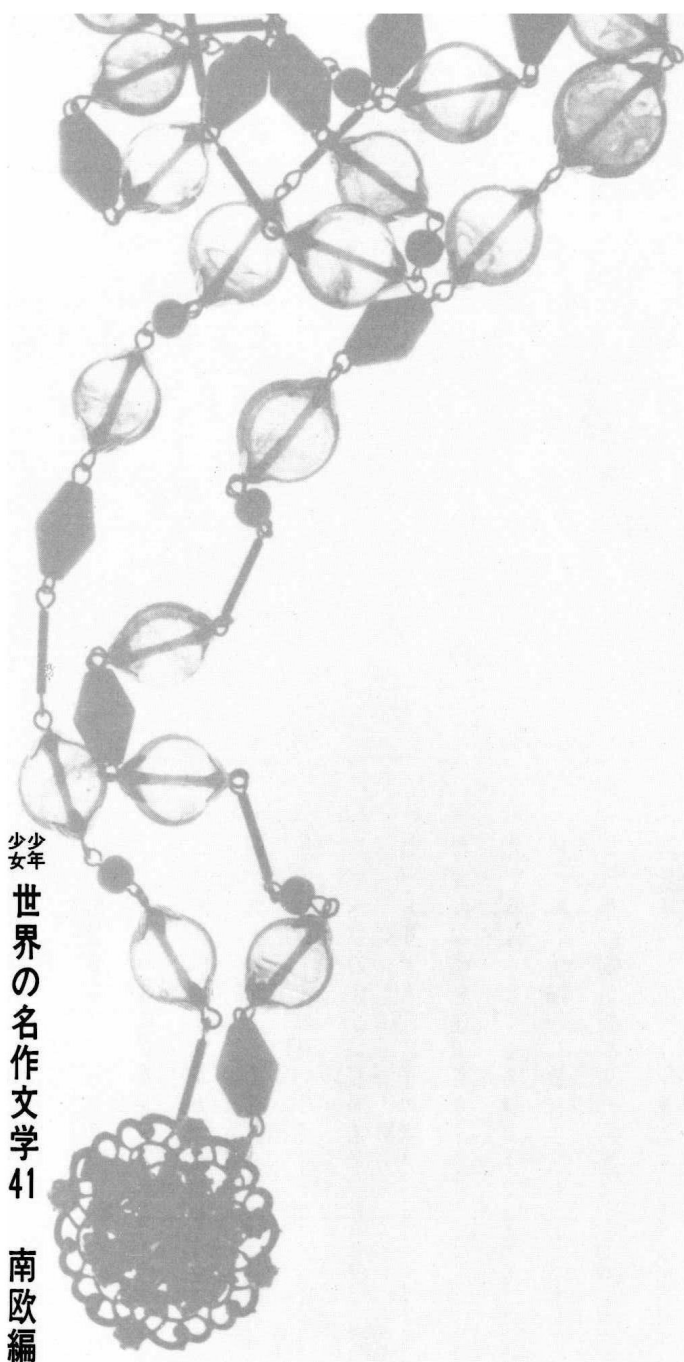
ベッケル^{たんべん}短編
しろ
白いしか

怪^{あや}しい歌^{うた}声^{こゑ}に誘^{さそ}われ、茂^{しげ}みをのぞきこんだガルセスは、はっ
と息^{いき}をのみました。コンスタンサ^{ひめ}姫^めだ！ 夢^{ゆめ}ではないだろう
か？ ガルセスは、じぶんの目^めを疑^{うたが}いました。そのとき……。

356 ページをごらんください

少年少女 世界の名作文学 41 南欧編 2

もくじ

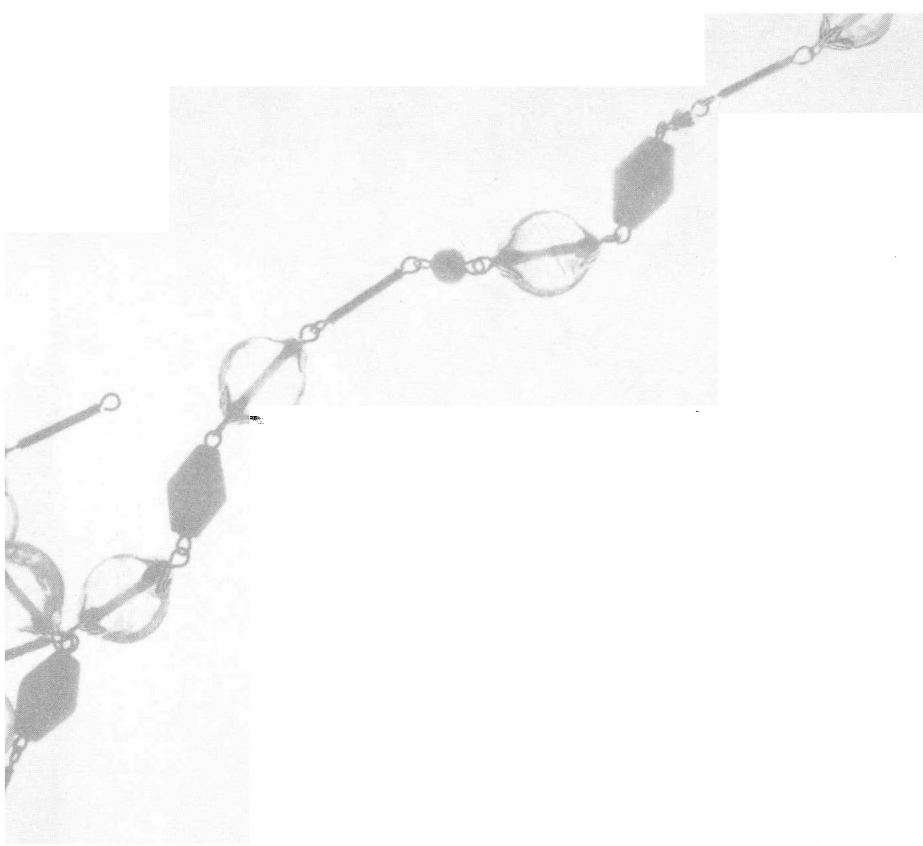


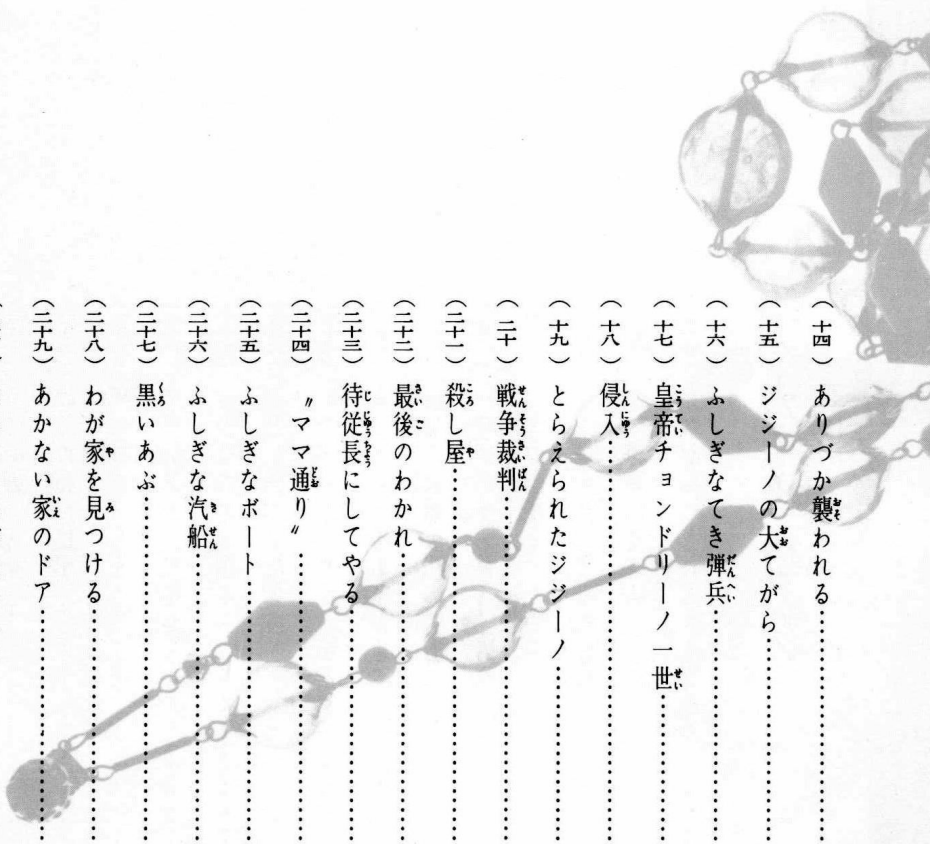
はじめに……………2

チヨンドリーノ

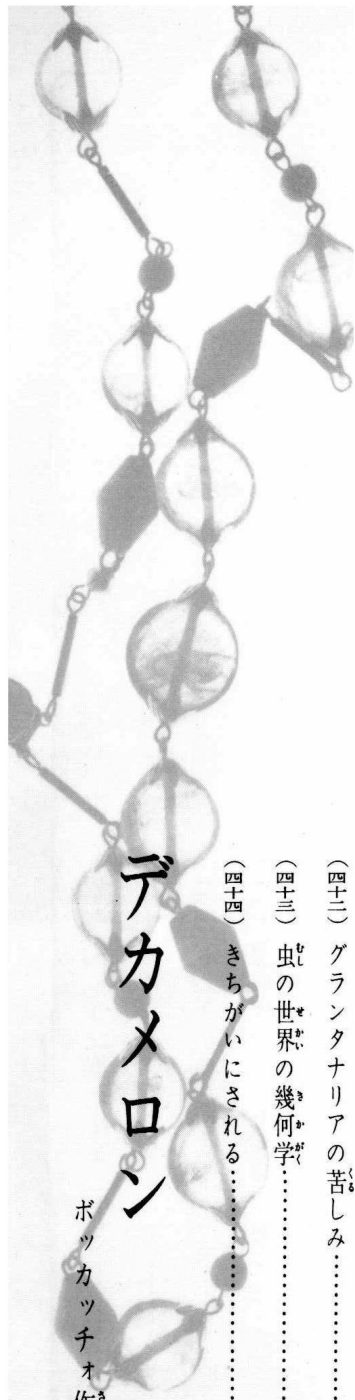
パンバ作……………19

- (一) 勉強ぎらいの三人の子……………21
- (二) ありの卵になるジジーノ……………27
- (三) ありに生まれかわったジジーノ……………29
- (四) ありの母……………35
- (五) ジジーノの迷い……………40
- (六) へびのように長いもの……………45
- (七) ありと人間の子の考え……………49
- (八) みみずを運ぶあり……………54
- (九) 兵隊らしくなるジジーノ……………58
- (十) ありの乳牛……………62
- (十一) 胃を痛くするラテン語……………66
- (十二) チヨンドリーノあらわる……………70
- (十三) 白い旗ばんざい……………74





(十四)	ありづか襲われる……………	77
(十五)	ジジーノの大てがら……………	80
(十六)	ふしぎなてき弾兵……………	84
(十七)	皇帝チョンドリーノ一世……………	88
(十八)	侵入……………	94
(十九)	とらえられたジジーノ……………	97
(二十)	戦争裁判……………	102
(二十一)	殺し屋……………	106
(二十二)	最後のわかれ……………	111
(二十三)	待従長にしてやる……………	116
(二十四)	「ママ通り」……………	120
(二十五)	ふしぎなボート……………	125
(二十六)	ふしぎな汽船……………	128
(二十七)	黒いあぶ……………	134
(二十八)	わが家を見つける……………	138
(二十九)	あかない家のドア……………	141
(三十)	のみにまちがえられる……………	146



デカメロン

ボツカッチオ作

(三十二)	ラテン語の先生	149
(三十二)	ばらの花の秘密	156
(三十三)	死の砂あらし	161
(三十四)	グランタナリア伯爵	169
(三十五)	みつばちの王国	174
(三十六)	女王と皇帝との会談	180
(三十七)	サラマンナぶどうのなぞ	185
(三十八)	みつばち王国の革命	191
(三十九)	決闘と結婚と引越	198
(四十)	一等の汽車の旅	204
(四十二)	二等の喫煙室	209
(四十二)	グランタナリアの苦しみ	216
(四十三)	虫の世界の幾何学	222
(四十四)	きちがいになれる	228

にせびっこ	237
墓どろぼう	242
知恵の弓矢	253
パン屋のチステイ	261
一本足のつる	266
魔法の石	271
かじやの裁判官	281
シモーネ先生	284
おおかみの夢	292
東洋の聖人	295
アテネの友情	301
サラディノの贈り物	308
ベツケル短編	327
音楽師ペレス	329
(一) ふしぎな伝説	329